

山の日情報

(第 31 号)

令和3年8月19日

秋田県生活環境部
自然保護課

【活動記録】

令和3年度の第3回目のボランティア事業を7月23日(金)のスポーツの日に行いました。今回の作業場所は森吉山で、大館鳳鳴高校山岳部と地元山岳会の方々など計21名でのボランティア作業となりました。

作業は、次の2班に分けて行いました。

- ①山頂の標柱「森吉山」の塗装をする1班
- ②ゴンドラ山頂駅を下りてすぐの樹水平にて、木道の補修とごみ拾いをする2班

山頂までの移動時間がかかる1班は、一足先に9時にゴンドラ山麓駅舎をスタート。11時頃に山頂に到着し、標柱の塗装を開始しました。標柱の木材はかなり乾燥している様子で、塗料がどんどん浸透していきます。標柱本体の塗装については、元々の木の色に近い白色系の塗料を使用したこともあり、塗装前後であまり色の違いがわからず…。しかし、防腐効果はしっかりと発揮されるはずです。

一方、すっかり色あせていた文字部分は、黒色の塗料で塗り直しました。さすがに黒色は目に見えて色が付き、「森吉山」の文字がはっきりと見えるようになりました。この日は祝日ということもあって、塗装したての標柱をバックに記念撮影をする登山者も多く、喜んでもらうことができました。

しかし、塗り終えた余韻にひたるのも束の間、昼過ぎには雨が降ってきてしまい、1班は急いで下山となりました。(塗装は雨でにじまなかったようで、良かったです。)



↑ 塗装作業の様子 ↓



1班
作業後の
集合写真

一方の2班は、10時過ぎにゴンドラ山麓駅舎をスタート。山頂駅舎に到着後、駅舎に保管してある補修資材（板材、枕木など）を作業現場の樹氷平まで運びます。

※なお、今回使用した板材は、間伐材などを利用して作られた「秋田県認定リサイクル製品」で、環境に優しく耐久性もある商品となっています。

山岳会などの山に関わる方々は高齢化が進んできており、どなたも体力のある方々ですが、力仕事は年々厳しくなっていく状況にあります。しかし、今回は大館鳳鳴高校山岳部の皆さんがボランティアに参加してくださったこともあり、フレッシュな若い力のおかげで資材の運搬は大変はかどりました。

「この勢いで木道の補修作業も」と意気込むところですが、天気は雨模様。次第に雨足も強まり、雷も聞こえてきたことから、大変残念ですが安全を考えて予定よりも早く2班の作業は打ち切りとなりました。

しかしながら、作業の中でも重労働である資材運搬を、高校生の力も借りて進めることができたのは大きな収穫であったと思います。



←資材を運ぶ高校生

2班 集合写真↓



今後も、幅広い方々で協働作業し、山の環境や安全について考える機会を作っていきたいと思いますので、次の機会も参加を検討していただけると嬉しいです。

最後になりますが、この事業に対しては、明治安田生命保険相互会社秋田支社様が参加者に飲み物の提供を、阿仁ゴンドラを運行するNPO法人森吉山様が資材運搬と参加者のゴンドラ利用についてご支援をしてくださいました。どちらも、暑い夏の作業の中で大変喜ばれました。この場を借りて御礼申し上げます。